

文字や数・図形に興味・関心を持つはじまりには、 どのようなものがあるでしょうか。

幼稚園・保育所でメディアを活用することについて、知育活動とイメージを結びつける保育者や保護者の方は多くおられます。そのような中で、メディアがまるで知育を押し付けるものであるかのように受け取られる方も少なくないようです。

しかしながら、ご存知のとおり、幼児期には多様な経験と活動が推奨されており、遊びの中で文字や数への興味を抱き、個々の要求に応じて学んでいくことが望ましいと考えられます。一方で、家庭や社会から保育への多様なニーズがあり、園の教育方針などから知育への考え方や取り組みについては様々です。

そこで、メディアを活用して知育活動を行なっている事例として、次のような取り組みをご紹介します。

パソコンで比べっこ遊びをしよう！

みどり保育園（兵庫県 神戸市）



パソコンで比べっこ遊び、大きいと小さいがちゃんとわかるかな？

わかったことをお絵かき帳でもためてみよう。できた！わかった！ってすぐに実感できることはうれしいですね。

このような図形だけではなく、時計に描かれている数字や絵本・図鑑の文字にも関心を持ちます。身近なものだけではなく、テレビやパソコンなど、興味・関心を抱く起点は様々なものでよいのです。

幼稚園教育要領 第2章 ねらいおよび内容 「環境」3 内容の取り扱い

(4)数量や文字などに関しては、日常生活の中で幼児自身の必要感に基づく体験を大切に、数量や文字などに関する興味や関心、感覚が養われるようにすること。

保育所保育指針 第3章 保育の内容 1 保育のねらい及び内容

環境（イ）⑩日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。

環境（イ）⑪日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持つ。